

東日本大震災と私

作成者 Y.S2

〈地震当日 2011.03.11 の私の体験〉

6校時の授業を待っているときであった。いつものように、みんなとガヤガヤ喋っていると強い揺れを感じた。地震と気づいたとき、静かになるどころか驚きで騒いでいた。先生も急いできて、みんな机の下に潜った。揺れが長かったのと3階に教室があったため、私は吐き気と恐怖に耐えていた。

もちろん、すぐに帰ることになったが、停電していて電車が使えず私は友達車で母の職場まで送ってもらった。私が無事に帰ることができたのは、たくさんの人の助けがあったからだと思った。

友達車の中にはテレビがあり震災の様子を見ることができた。海の水が入ってきたディズニーランドや、東北特に宮城県は言葉にできないくらいのおぞましい光景があった。

家に着いてからは、家族全員で夕食を食べたり、電気のつかないこたつに入ったりした。おかげで、電気はつかないがそこまで寒くもなく恐怖も和らいだ。この時、改めて家族のありがたさがわかった。その反面、被災地のほうでは家族を失った人が数え切れなくらいいることも知り、その方たちは今後重い悲しみを背負っていくこともわかった。だからこそ、被害の少ない私たちが被災者のために小さなことからでも何かしなければいけないと感じた。

〈地震後 3 ヶ月間の私の動き〉

- ・ ガソリンを使わないために、外出をなるべく控えた。
- ・ ラジオを聞いた。
- ・ 家族全員でこたつの中において、寒さをしのいだ。(なるべく全員が同じ部屋にいるようにした。)
- ・ 大根に爪楊枝と蝋燭を立てて、夜を過ごした。
- ・ 寝る時間をかなり早めた。
- ・ 電話が繋がったときに、多くの人と連絡をとった。
- ・ 水はでるので、水がほしい人にわけた。

〈今私にできること〉

- ・ 募金活動（お店にある募金箱に募金）
- ・ 節電・節約
- ・ チャリティーコンサート的な何か（吹奏楽部でできたらいいですね☆）

Summary

It was scary phenomena.

When I was waiting for the sixth class, suddenly big earthquake occurred. We waited for the settling down under the desk.

I went back to home with my friends. Many people lost their family. So, we should help them. I can play a clarinet and I belong to Brass Band club. I would be pleased if I could hold a Charity concert. I hope to invite many people.



東日本大震災についてもっと詳しく！！→[こ](#)

[ちら](#)